

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

年末年始の 火災・救急事故を防ごう

楽しい年末年始を迎えるために、この時期に発生しやすい火災や救急事故の注意点を知り、未然に防止するための対策をみんなで立てておきましょう。

火災

- ◆ 放火による火災を防ごう
- ◆ 電気火災を防ごう
- ◆ 暖房機器からの火災を防ごう
- ◆ たばこやてんぷら油からの火災を防ごう

《住宅防火 いのちを守る7つのポイント》

3つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない
- 2 ストープは燃えやすいものから離れた位置で使う
- 3 ガスコンロのそばを離れるときは火を消す

平成27年中に町内で発生した火災8件のうち、たばこ、電気装置、電気配線が原因の火災がそれぞれ1件ありました。3つの習慣で火災を防止しましょう。



4つの対策

- 1 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器をつける
- 2 火元からの燃え移りを防ぐために、防災製品を使う
- 3 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
- 4 お年寄りや身体が不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

救急

- ◆ 飲酒による事故をなくそう

《予防のポイント》

- 1 自分の適量を知り、その日の体調にも注意する
- 2 一気飲みは絶対にしない
- 3 飲酒の無理強いはいらない

- ◆ 入浴中の事故をなくそう

《予防のポイント》

- 1 脱衣場や浴室の室温が低くならないようにして、湯温は39～41℃くらいにする
- 2 食事直後や深夜は入浴しない
- 3 心臓や肺の慢性疾患や高血圧症を持つ人は、半身浴が望ましい
- 4 心疾患がある人や高齢者が一人で入浴する場合は、周りの人がときどき声を掛けて様子を見る

- ◆ 餅や食べ物による窒息をなくそう

《予防のポイント》

- 1 餅や肉などは、小さく切って食べやすい大きさにする
- 2 急いで飲み込もうとしないで、ゆっくりかんで食べる
- 3 高齢者は、家族と一緒に食事をするなど、周りの目が届くようにする

餅などによる窒息での救急搬送は、70～80代の高齢者が圧倒的に多くなっています。家族で見守る環境をつくりましょう。

